

令和 8 年 9 月 1 8 日
北海道運輸局自動車交通部貨物課

貨物自動車運送事業の法令試験の結果について

標記について、下記のとおり報告します。

1. 実施年月日：令和 8 年 9 月 1 8 日（金） 1 3 : 4 0 ~ 1 4 : 3 0
2. 場所：北海道運輸局 7 階第 1 会議室
北海道運輸局函館運輸支局会議室
北海道運輸局旭川運輸支局会議室
北海道運輸局釧路運輸支局会議室
北海道運輸局帯広運輸支局会議室
3. 受験者数：1 3 者
（申請種別）（初回試験） 一般新規 7 者
合併 1 者
（再試験） 一般新規 4 者
分割 1 者
4. 合格者数：1 1 者
（申請種別）（初回試験） 一般新規 5 者
合併 1 者
（再試験） 一般新規 4 者
分割 1 者
5. 不合格者数：2 者
6. 合格率：8 4 . 6 %
7. その他
 - ・最高得点は 3 0 点、最低得点は 1 6 点
 - ・平均得点は 2 7 . 2 点

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

受験番号

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（注意事項）

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の問題 1 から 20 の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ） 内に記入しなさい。

問題 1 （運行管理規程）

運行管理者は、乗務員の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題 2 （安全管理者等に対する教育等）

事業者は、事業場における安全衛生の水準の向上を図るため、安全管理者、運行管理者、安全衛生推進者、衛生推進者その他労働災害の防止のための業務に従事する者に対し、これらの者が従事する業務に関する能力の向上を図るための教育、講習等を行い、又はこれらを受ける機会を与えるように努めなければならない。（労働安全衛生法）

（ ）

問題 3 （運賃及び料金の届出）

運賃料金設定（変更）届出書には、「設定し、又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法」を記載しなければならない。（貨物自動車運送事業報告規則）

（ ）

問題 4 （点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対する点呼において、早朝時間帯の運行管理者（補助者）の出勤時間前等の都合による場合は、

対面に代えて電話による点呼を行うことができる。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 5 (日常点検整備)

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。また、点検の結果、当該自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態又は適合しない状態にあるときは、保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、又は保安基準に適合させるために当該自動車について必要な整備をしなければならない。(道路運送車両法)

()

問題 6 (相続)

事業者が死亡した場合において、相続人(相続人が2人以上ある場合においてその協議により当該一般貨物自動車運送事業を承継すべき相続人を定めたときは、その者。)が被相続人の経営していた一般貨物自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後120日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 7 (過積載車両に係る措置命令)

警察官は、過積載をしている車両の運転者に対し、当該車両に係る積載が過積載とならないようにするため必要な応急の措置をとることを命ずることができる。(道路交通法)

()

問題 8 (公衆の利便を阻害する行為の禁止等)

事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 9 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者が他の一般貨物自動車運

送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者の行う運送（自動車を使用しないで貨物の運送を行わせることを内容とする契約によるものを除く。）を利用してする貨物の運送をいう。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 0 （運行管理者の指導及び監督）

運行管理者は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題 1 1 （事業計画）

貨物自動車運送事業法に規定されている貨物自動車運送事業の事業計画には、事業用自動車の長さ、幅、高さについて記載することになっている。（貨物自動車運送事業法施行規則）

（ ）

問題 1 2 （中小受託事業者の給付の内容その他の事項の明示等）

委託事業者は、中小受託事業者に対し製造委託等をした場合は、直ちに、公正取引委員会規則で定めるところにより、中小受託事業者の給付の内容、製造委託等代金の額、支払期日及び支払方法その他の事項を、書面又は電磁的方法（電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法であつて公正取引委員会規則で定めるものをいう。以下この条において同じ。）により中小受託事業者に対し明示しなければならない。ただし、これらの事項のうちその内容が定められないことにつき正当な理由があるものについては、その明示を要しないものとし、この場合には、委託事業者は、当該事項の内容が定められた後直ちに、当該事項を書面又は電磁的方法により中小受託事業者に対し明示しなければならない。（製造委託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払の遅延等の防止に関する法律）

（ ）

問題 1 3 （許可等の条件）

貨物自動車運送事業法に規定する許可又は認可には、条件又は期限を付し、及びこれを変更することができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 4（事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 5（事業の適確な遂行）

事業者は、健康保険法（大正 1 1 年法律第 7 0 号）等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 6（目的等）

労働関係の当事者は、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」を理由として自動車運転者の労働条件を低下させてはならないことはもとより、その向上に努めなければならない。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）

（ ）

問題 1 7（速報）

事業者等は、その使用する自動車について 5 人以上の重傷者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、2 4 時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。（自動車事故報告規則）

（ ）

問題 1 8（書面の交付）

真荷主及び一般貨物自動車運送事業者は、運送契約を締結するときは、国土交通省令で定める場合を除き、運送の役務の内容及びその対価、当該運送契約に運送の役務以外の役務の提供が含まれる場合にあつては、運送の役務以外の役務の内容及びその対価、その他国土交通省令で定める事項を書面に記載して、いずれかが一方に交付すれば足りる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題 1 9（過労運転等の防止）

貨物自動車運送事業者は、酒気を帯びた状態にある乗務員等を事業用自動車の運行の業務に従事させてはならない。

また、乗務員等の健康状態の把握に努め、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全に運行の業務を遂行し、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員等を事業用自動車の運行の業務に従事させてはならないが、運行管理者がやむを得ないと判断したときはこの限りではない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 2 0 (欠格事由)

許可を受けようとする者が、一年以上の拘禁刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から五年を経過しない者であるときには、国土交通大臣は一般貨物自動車運送事業の許可をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

Ⅱ. 次の問題 2 1 ～ 3 0 の文章の指示に従って、設問に答えなさい。

問題 2 1 (乗務員)

貨物自動車運送事業者の乗務員が、事業用自動車の乗務について、遵守しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとること。
- イ. 酒気を帯びて乗務しないこと。
- ウ. 事業用自動車に貨物を積載するときは、貨物自動車運送事業法第 5 条に定めるところにより積載すること。

()

問題 2 2 (届出)

事業者が地方運輸局長等に届け出なければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 一般貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合
- イ. 事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合
- ウ. 事業者が新たに雇用した従業員が社会保険（厚生年金及び健康保険）に加入した場合

()

問題 2 3 (運行管理者の業務)

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務として誤っているものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
 - イ. 乗務員に対する指導、監督及び特別な指導を行い、並びに運転者に適性診断を受けさせること。
 - ウ. 点検整備記録簿その他の点検及び整備に関する記録簿を管理すること。
- ()

問題 2 4 (追越しを禁止する場所)

他の車両を追い越すため、進路を変更し、又は前車の側方を通過してはならない場所として定められた次の条文中の【 】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(道路交通法)

交差点、踏切、横断歩道又は自転車横断帯及びこれらの手前の側端から前に【 】以内の部分

- ア. 十メートル
 - イ. 二十メートル
 - ウ. 三十メートル
- ()

問題 2 5 (法人の合併又は分割の認可の申請)

事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 合併又は分割の予定日
 - イ. 合併又は分割の方法及び条件
 - ウ. 合併又は分割の契約日
- ()

問題 2 6 (目的)

貨物自動車運送事業法の目的として同法に記載されている事項として誤っているものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自

動車運送事業法)

- ア. 貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする事
- イ. 貨物自動車運送事業の過当な競争の防止に関する事
- ウ. 輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資する事

()

問題 2 7 (運行指示書による指示等)

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則第 7 条第 3 項に規定する乗務を含む運行ごとに運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から 1 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員の休憩地点及び休憩時間 (休憩がある場合に限る。)
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置

()

問題 2 8 (事故の記録)

事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において 3 年間保存しなければならないとされている。記録しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 事故の発生日時及び運行管理者の氏名
- イ. 再発防止対策及び事故の原因
- ウ. 事故の発生場所及び事故の概要

()

問題 2 9 (事業の譲渡し及び譲受けの認可の申請)

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けの認可申請書に記載しなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 譲渡し及び譲受けの方法
- イ. 譲渡し及び譲受けの価格
- ウ. 譲渡し及び譲受けの場所

()

問題 30 (事業計画)

事業者が事業計画の変更をしようとするときに、国土交通大臣の認可を受けなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から 1 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法、貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力の変更
- イ. 営業所の名称の変更
- ウ. 主たる事務所の名称及び位置の変更

()

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

受験番号

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（注意事項）

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の問題 1 から 20 の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ） 内に記入しなさい。

問題 1 （運行管理規程）

運行管理者は、乗務員の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第 21 条）

（正）事業者は、運行管理者の職務及び権限等に関する規程を定めなければならない。

（ × ）

問題 2 （安全管理者等に対する教育等）

事業者は、事業場における安全衛生の水準の向上を図るため、安全管理者、運行管理者、安全衛生推進者、衛生推進者その他労働災害の防止のための業務に従事する者に対し、これらの者が従事する業務に関する能力の向上を図るための教育、講習等を行い、又はこれらを受ける機会を与えるように努めなければならない。（労働安全衛生法第 19 条の 2）

（正）運行管理者ではなく衛生管理者

（ × ）

問題 3 （運賃及び料金の届出）

運賃料金設定（変更）届出書には、「設定し、又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法」を記載しなければならない。（貨物自動車運送事業報告規則第 2 条の 2）

（ ○ ）

問題 4（点呼等）

事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対する点呼において、早朝時間帯の運行管理者（補助者）の出勤時間前等の都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第 7 条第 1 項）

（正）電話その他の方法により点呼を行うことができるのは、運行上やむを得ない場合である。

（ × ）

問題 5（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。また、点検の結果、当該自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態又は適合しない状態にあるときは、保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、又は保安基準に適合させるために当該自動車について必要な整備をしなければならない。（道路運送車両法第 4 7 条の 2）

（ ○ ）

問題 6（相続）

事業者が死亡した場合において、相続人（相続人が 2 人以上ある場合においてその協議により当該一般貨物自動車運送事業を承継すべき相続人を定めたときは、その者。）が被相続人の経営していた一般貨物自動車運送事業を引き続き経営しようとするときは、被相続人の死亡後 1 2 0 日以内に、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法第 3 1 条第 1 項）

（正）1 2 0 日以内ではなく 6 0 日以内である。

（ × ）

問題 7（過積載車両に係る措置命令）

警察官は、過積載をしている車両の運転者に対し、当該車両に係る積載が過積載とならないようにするため必要な応急の措置をとることを命ずることができる。（道路交通法第 5 8 条の 3 第 1 項）

（ ○ ）

問題 8（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしてはならない。（貨物自動車運送事業法第 2 6 条第 2 項）

(○)

問題 9 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者の行う運送（自動車を使用しないで貨物の運送を行わせることを内容とする契約によるものを除く。）を利用してする貨物の運送をいう。（貨物自動車運送事業法第2条第7項）

(○)

問題 10 (運行管理者の指導及び監督)

運行管理者は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第22条）

(正) 事業者が運行管理者に対して行わなければならない。

(×)

問題 11 (事業計画)

貨物自動車運送事業法に規定されている貨物自動車運送事業の事業計画には、事業用自動車の長さ、幅、高さについて記載することになっている。（貨物自動車運送事業法施行規則第2条第1項）

(正) 事業用自動車の長さ、幅、高さに係る規定はない。

(×)

問題 12 (中小受託事業者の給付の内容その他の事項の明示等)

委託事業者は、中小受託事業者に対し製造委託等をした場合は、直ちに、公正取引委員会規則で定めるところにより、中小受託事業者の給付の内容、製造委託等代金の額、支払期日及び支払方法その他の事項を、書面又は電磁的方法（電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法であつて公正取引委員会規則で定めるものをいう。以下この条において同じ。）により中小受託事業者に対し明示しなければならない。ただし、これらの事項のうちその内容が定められないことにつき正当な理由があるものについては、その明示を要しないものとし、この場合には、委託事業者は、当該事項の内容が定められた後直ちに、当該事項を書面又は電磁的方法により中小受託事業者に対し明示しなければならない。（製造委託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払の遅延等の防止に関する法律第4条第1項）

(○)

問題 1 3 （許可等の条件）

貨物自動車運送事業法に規定する許可又は認可には、条件又は期限を付し、及びこれを変更することができる。（貨物自動車運送事業法第 5 9 条第 1 項）

（ ○ ）

問題 1 4 （事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法第 2 7 条）

（正）役員の変更は規定されていない。

（ × ）

問題 1 5 （事業の適確な遂行）

事業者は、健康保険法（大正 1 1 年法律第 7 0 号）等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の納付その他の事業の適正な運営に関する事項に関し国土交通省令で定める基準を遵守しなければならない。（貨物自動車運送事業法第 2 5 条）

（ ○ ）

問題 1 6 （目的等）

労働関係の当事者は、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」を理由として自動車運転者の労働条件を低下させてはならないことはもとより、その向上に努めなければならない。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第 1 条第 2 項）

（ ○ ）

問題 1 7 （速報）

事業者等は、その使用する自動車について 5 人以上の重傷者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、2 4 時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。（自動車事故報告規則第 4 条第 1 項）

（ ○ ）

問題 1 8 （書面の交付）

真荷主及び一般貨物自動車運送事業者は、運送契約を締結するときは、国土交通省令で定める場合を除き、運送の役務の内容及びその対価、当該運送契約

に運送の役務以外の役務の提供が含まれる場合にあつては、運送の役務以外の役務の内容及びその対価、その他国土交通省令で定める事項を書面に記載して、いずれかが一方に交付すれば足りる。(貨物自動車運送事業法第12条第1項)

誤：いずれかが一方に交付すれば足りる 正：相互に交付しなければならない
(×)

問題19 (過労運転等の防止)

貨物自動車運送事業者は、酒気を帯びた状態にある乗務員等を事業用自動車の運行の業務に従事させてはならない。

また、乗務員等の健康状態の把握に努め、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全に運行の業務を遂行し、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員等を事業用自動車の運行の業務に従事させてはならないが、運行管理者がやむを得ないと判断したときはこの限りではない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第5項、第6項)

(×)

問題20 (欠格事由)

許可を受けようとする者が、一年以上の拘禁刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から五年を経過しない者であるときには、国土交通大臣は一般貨物自動車運送事業の許可をしてはならない。(貨物自動車運送事業法第5条第1項)

(○)

Ⅱ. 次の問題21～30の文章の指示に従って、設問に答えなさい。

問題21 (乗務員)

貨物自動車運送事業者の乗務員が、事業用自動車の乗務について、遵守しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第16条)

- ア. 事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとること。
- イ. 酒気を帯びて乗務しないこと。
- ウ. 事業用自動車に貨物を積載するときは、貨物自動車運送事業法第5条に定めるところにより積載すること。

(正) ウ. で、貨物自動車運送事業輸送安全規則第5条に定めるところ

(ウ)

問題22 (届出)

事業者が地方運輸局長等に届け出なければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第44条第1項)

- ア. 一般貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合
- イ. 事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合
- ウ. 事業者が新たに雇用した従業員が社会保険（厚生年金及び健康保険）に加入した場合

(ウ)

問題23（運行管理者の業務）

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条第1項)

- ア. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- イ. 乗務員に対する指導、監督及び特別な指導を行い、並びに運転者に適性診断を受けさせること。
- ウ. 点検整備記録簿その他の点検及び整備に関する記録簿を管理すること。

(正) ウ. は整備管理者の業務である。

(ウ)

問題24（追越しを禁止する場所）

他の車両を追い越すため、進路を変更し、又は前車の側方を通過してはならない場所として定められた次の条文中の【 】内にあてはまる語句を、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(道路交通法第30条)

交差点、踏切、横断歩道又は自転車横断帯及びこれらの手前の側端から前に【 】以内の部分

- ア. 十メートル
- イ. 二十メートル
- ウ. 三十メートル

(ウ)

問題25（法人の合併又は分割の認可の申請）

事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項

として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第18条第1項)

- ア. 合併又は分割の予定日
- イ. 合併又は分割の方法及び条件
- ウ. 合併又は分割の契約日

(ウ)

問題26 (目的)

貨物自動車運送事業法の目的として同法に記載されている事項として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法第1条)

- ア. 貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする
- イ. 貨物自動車運送事業の過当な競争の防止に関する
- ウ. 輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資する

(イ)

問題27 (運行指示書による指示等)

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則第7条第3項に規定する乗務を含む運行ごとに運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の3)

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員の休憩地点及び休憩時間(休憩がある場合に限る。)
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置

(ウ)

問題28 (事故の記録)

事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において3年間保存しなければならないとされている。記録しなければならない事項として誤っているものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の2)

- ア. 事故の発生日時及び運行管理者の氏名 (正) 乗務員
- イ. 再発防止対策及び事故の原因

ウ．事故の発生場所及び事故の概要

(ア)

問題 29 (事業の譲渡し及び譲受けの認可の申請)

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けの認可申請書に記載しなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第17条第1項)

- ア．譲渡し及び譲受けの方法
- イ．譲渡し及び譲受けの価格
- ウ．譲渡し及び譲受けの場所

(イ)

問題 30 (事業計画)

事業者が事業計画の変更をしようとするときに、国土交通大臣の認可を受けなければならない事項として正しいものを、次のア～ウの中から1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法第9条第1項、第3項、貨物自動車運送事業法施行規則第2条第1項、第7条第1項)

- ア．乗務員の休憩又は睡眠のための施設の位置及び収容能力の変更
- イ．営業所の名称の変更
- ウ．主たる事務所の名称及び位置の変更

(ア)